

トヨタ カリーナED

T店



標題 トヨタ カリーナED修理書の内容訂正のお知らせ

トヨタ カリーナED修理書（品番62315，1989年9月発行）の内容に誤りがありましたので訂正いたします。

部位 P2-5 エアバルブ冷間時および温間時点検の削除と点火時期点検，調整に参考文追加
正

- 8 エンジン暖機
- 9 タペット異常音点検
- 10 点火時期点検，調整

- (1) ダイアグノーシスチェックワイヤを使用して，ダイアグノーシスコネクターの $T_{E1} \leftrightarrow E_1$ 端子を短絡する。

注意 短絡位置を間違えると故障の原因になるため絶対に間違えない。

参考 $T_{E1} \leftrightarrow E_1$ 端子短絡後，5秒間エンジン回転数が150～300rpm上昇し，その後アイドル回転付近に戻る。

（ISCV作動確認機能）

回転数に変化がない場合はISCV系の異常が考えられる。

- (2) 点火時期を確認する。

基準値 BTDC 9～11°

基準値外の場合は，ディストリビューターを動かして基準値の中央値に調整する。

- (3) $T_{E1} \leftrightarrow E_1$ 端子を開放する。

- (4) 点火時期が基準値であることを確認する。

基準値 BTDC 10～21°

- (5) 点火時期を調整した場合は，ディストリビューターのセットボルトを封印テープで封印する。

- 11 アイドル回転数点検

注意 電動ファンがOFFのときに行う。

- (1) アイドル回転数を確認する。

基準値 700±50rpm

- 12 インテークマニホールド負圧点検

基準値 460mmHg以上

- 13 コンプレッション点検

基準値 12.5kg/cm² (250rpm)

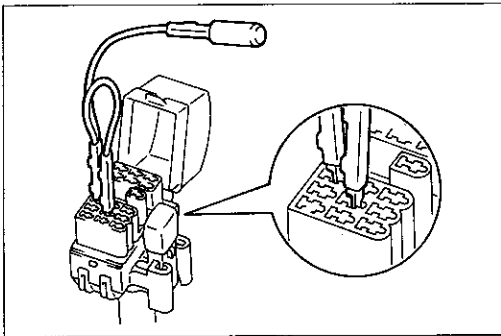
限度 10.0kg/cm² (250rpm)

気筒差限度 1.0kg/cm²

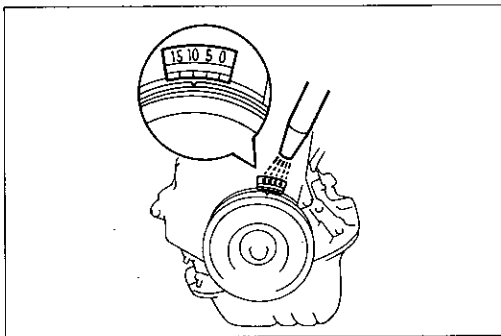
- 14 CO・HC濃度点検

基準値 CO濃度 1.0%以下

HC濃度 800ppm以下

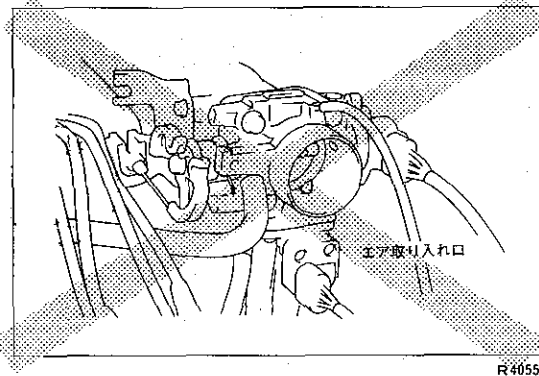


R2223



F7269

誤



R4055

8 エアバルブ冷間時点検

- (1) 冷間時、アイドル回転数が上昇することを確認する。
- (2) クランプをゆるめ、エアクリーナーホースをスロットルボデーからはずす。
- (3) スロットルボデー内のエア取り入れ口を塞いだとき、回転数が下がることを確認する。

〈参考〉 指にビニールテープを巻いておくといよい。

9 エンジン暖機

10 エアバルブ温間時点検

- (1) スロットルボデー内のエア取り入れ口を指で塞いだとき、回転数の低下が基準値以下であることを確認する。

基準値 50rpm

〈参考〉 指にビニールテープを巻いておくといよい。

11 タペット異常音点検

12 点火時期点検、調整

- (1) ダイアグノーシスチェックワイヤを使用して、ダイアグノーシスコネクターの $T_{E1} \leftrightarrow E_1$ 端子を短絡する。

注意 短絡位置を間違えると故障の原因になるため絶対に間違えない。

- (2) 点火時期を確認する。

基準値 BTDC 9～11°

基準値外の場合は、ディストリビューターを動かして基準値の中央値に調整する。

- (3) $T_{E1} \leftrightarrow E_1$ 端子を開放する。

- (4) 点火時期が基準値であることを確認する。

基準値 BTDC 10～21°

- (5) 点火時期を調整した場合は、ディストリビューターのセットボルトを封印テープで封印する。

13 アイドル回転数点検

注意 電動ファンがOFFのときに行う。

- (1) アイドル回転数を確認する。

基準値 700±50rpm

14 インテークマニホールド負圧点検

基準値 460mmHg

15 コンプレッション点検

基準値 12.5kg/cm² (250rpm)

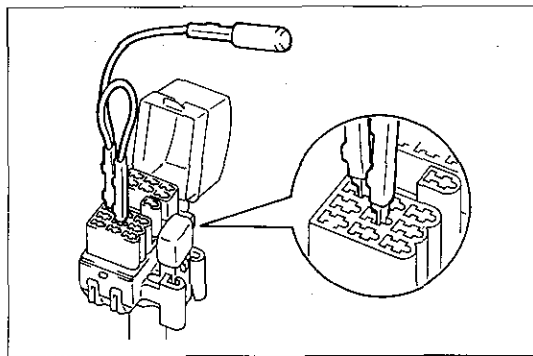
限度 10.0kg/cm² (250rpm)

気筒差限度 1.0kg/cm²

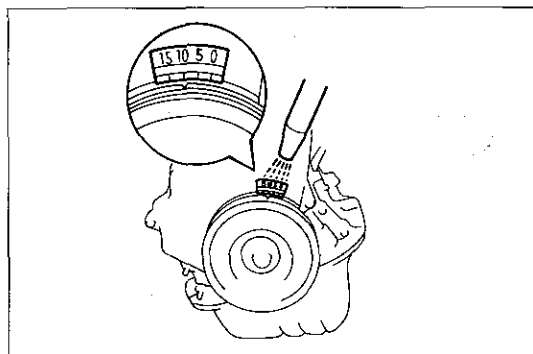
16 CO・HC濃度点検

基準値 CO濃度 1.0%以下

HC濃度 800ppm以下



R2223



F7269

部位 P 2-31 ISCV端子間抵抗点検の基準値の訂正

正

ISCV

ISCV点検

1 端子間抵抗点検

- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して各端子間の抵抗を測定する。

基準値 $ISC_1 \leftrightarrow +B$ 19~23 Ω $ISC_2 \leftrightarrow +B$ 19~23 Ω

誤

ISCV

ISCV点検

1 端子間抵抗点検

- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して各端子間の抵抗を測定する。

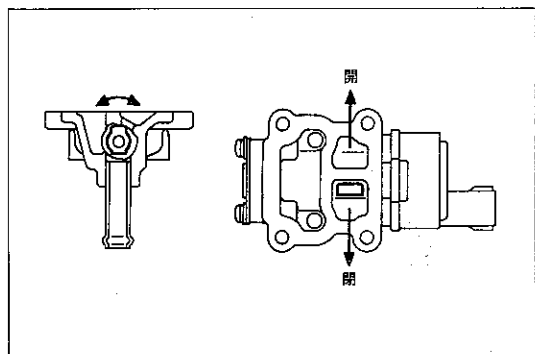
基準値 $ISC_1 \leftrightarrow +B$ 16.0~17.0 Ω $ISC_2 \leftrightarrow +B$ 16.0~17.0 Ω

部位 P 2-32 ISCV作動点検イラスト指示文字追加訂正

正

2 作動点検

- (1) +B端子にバッテリー $\oplus$, ISC_1 (開) 端子をアースしたとき, バルブが開き側に動くことを確認する。
 (2) +B端子にバッテリー $\oplus$, ISC_2 (閉) 端子をアースしたとき, バルブが閉じ側に動くことを確認する。

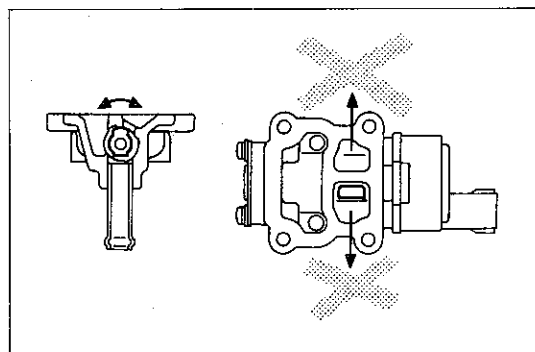


R4070

誤

2 作動点検

- (1) +B端子にバッテリー $\oplus$, ISC_1 (開) 端子をアースしたとき, バルブが開き側に動くことを確認する。
 (2) +B端子にバッテリー $\oplus$, ISC_2 (閉) 端子をアースしたとき, バルブが閉じ側に動くことを確認する。



R4070

正

スロットルポジションセンサー**スロットルポジションセンサー点検, 調整****1 抵抗点検**

- (1) スロットルストップスクリューとスロットルレバーの間にSSTをはさみIDL↔E₁端子間の抵抗を測定する。

S S T 09242-00050 09242-00070

基準値 0.5mm 2.3kΩ以下

0.7mm 10MΩ以上

- (2) V_c↔E₂間の抵抗を測定する。

基 準 4.0～8.5kΩ

誤

スロットルポジションセンサー**スロットルポジションセンサー点検, 調整****1 抵抗点検**

- (1) スロットルストップスクリューとスロットルレバーの間にSSTをはさみIDL↔E₁端子間の抵抗を測定する。

S S T 09242-00050 09242-00070

基準値 0.5mm 2.3kΩ以下

0.7mm 10MΩ以上

- (2) V_c↔E₂間の抵抗を測定する。

基 準 3.0～8.3kΩ

正

ISCV**ISCV点検****1 抵抗点検**

- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して各端子間の抵抗を測定する。

基準値 +B↔S₁間 19～23Ω+B↔S₂間 19～23Ω

誤

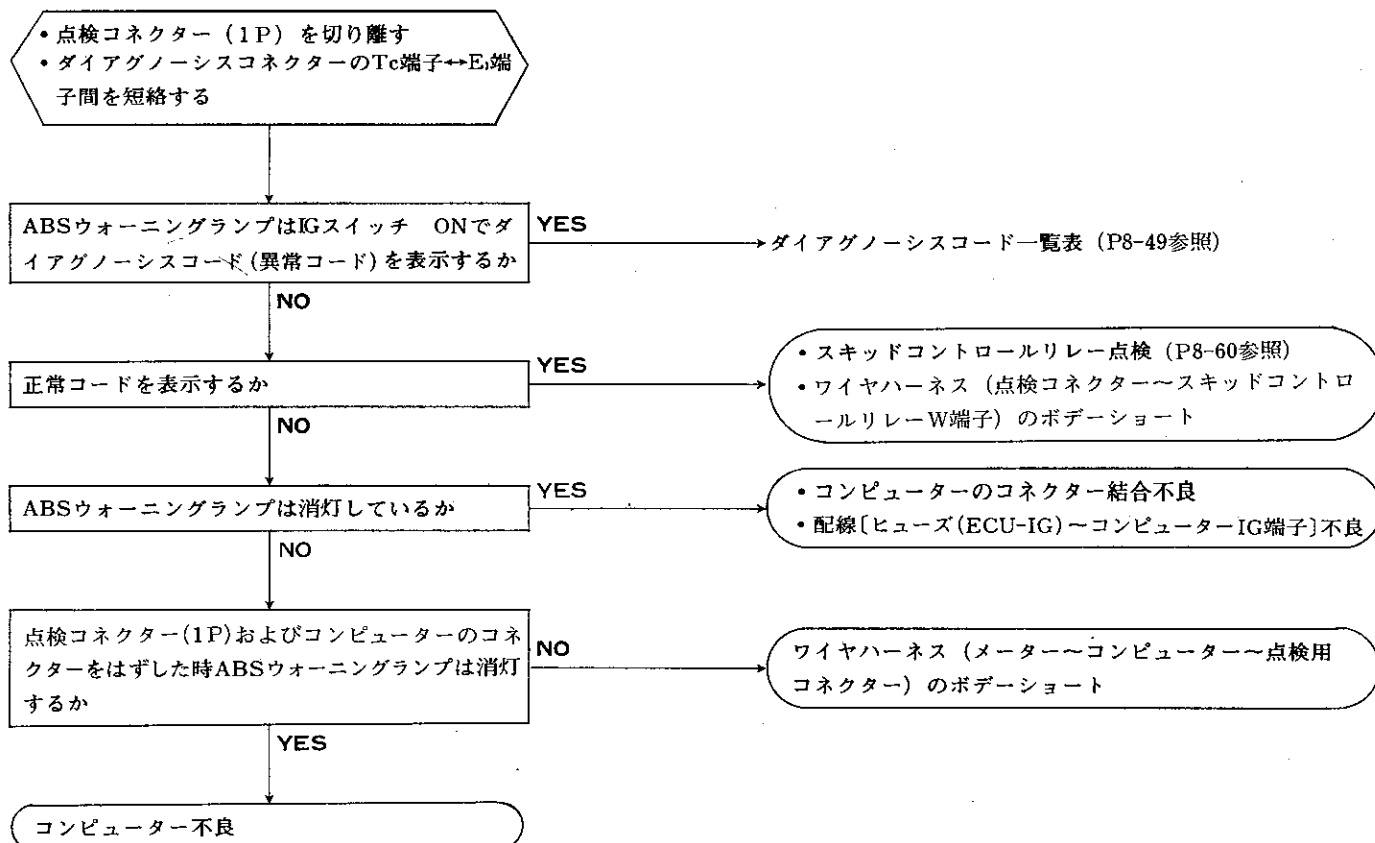
ISCV**ISCV点検****1 抵抗点検**

- (1) トヨタエレクトリカルテスターを使用して各端子間の抵抗を測定する。

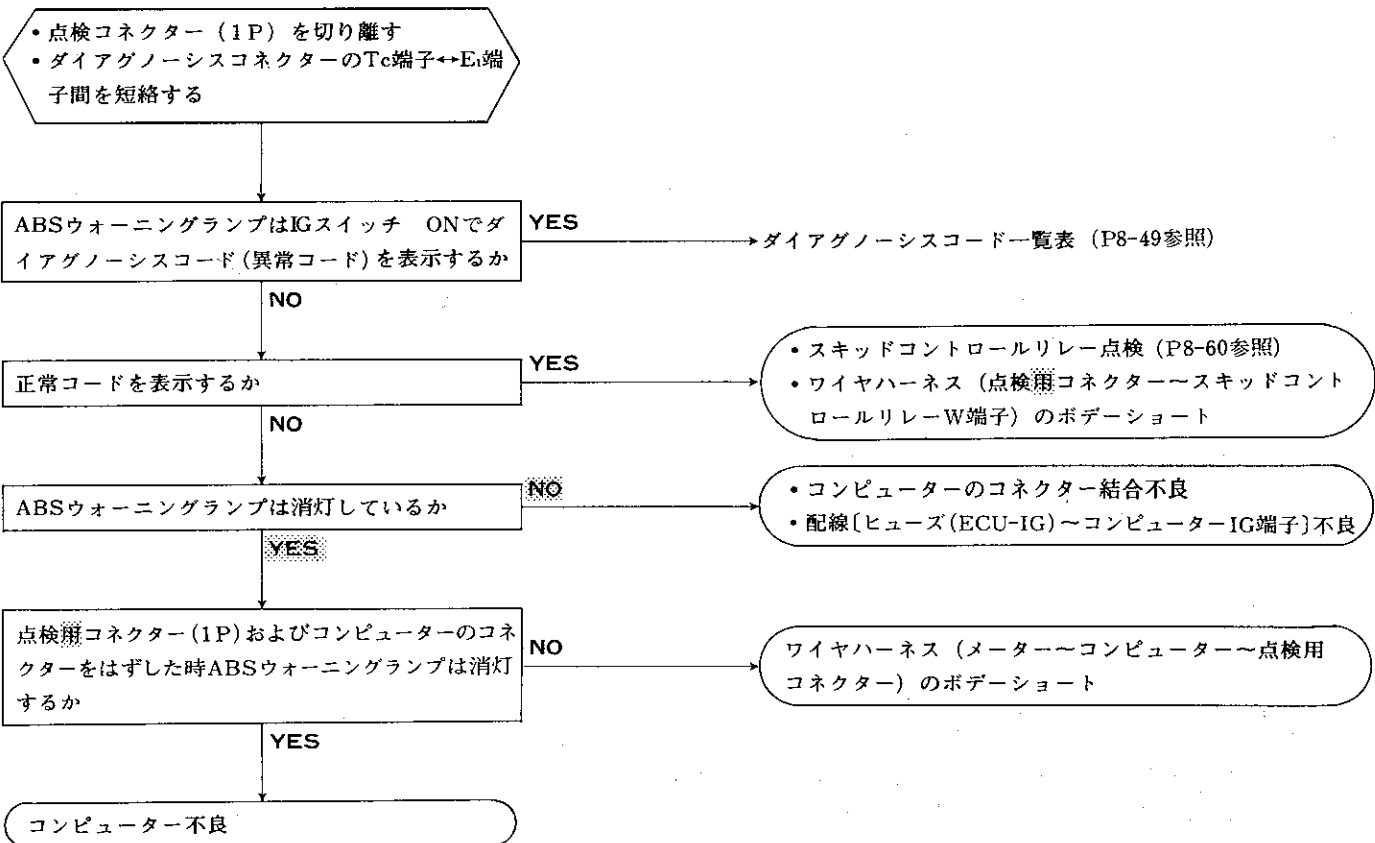
基準値 +B↔S₁間 2～3Ω+B↔S₂間 2～3Ω

部位 P8-52 フローチャート中の“YES”“NO”の指示訂正

正



誤



正

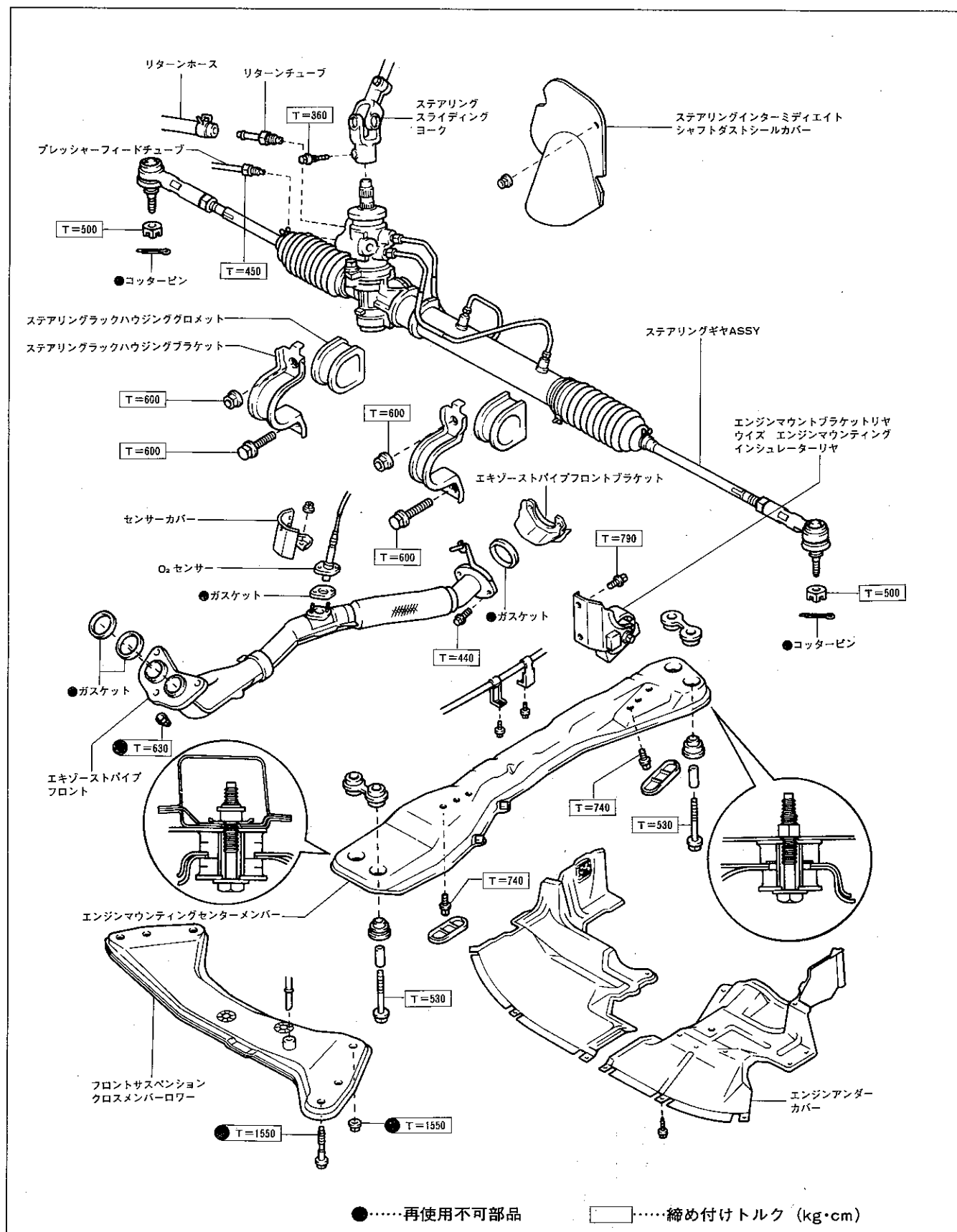
- (6) エンジン回転数1000rpm以下で、ステアリングホイールを左右どちらかにいっぱいに切った状態に5～6秒間保持し、さらに、この作業を2～3秒間隔で、3～4回繰り返す。

誤

- (6) エンジン回転数1000rpm以下で、ステアリングホイールを左右どちらかにいっぱいに切った状態に~~25～26~~秒間保持し、さらに、この作業を2～3秒間隔で、3～4回繰り返す。

部位 P 9-49 ステアリングギヤ(2WS) 脱着構成図中のボルトおよびナットに対する締め付けトルクおよび再使用不可部品
指示の訂正

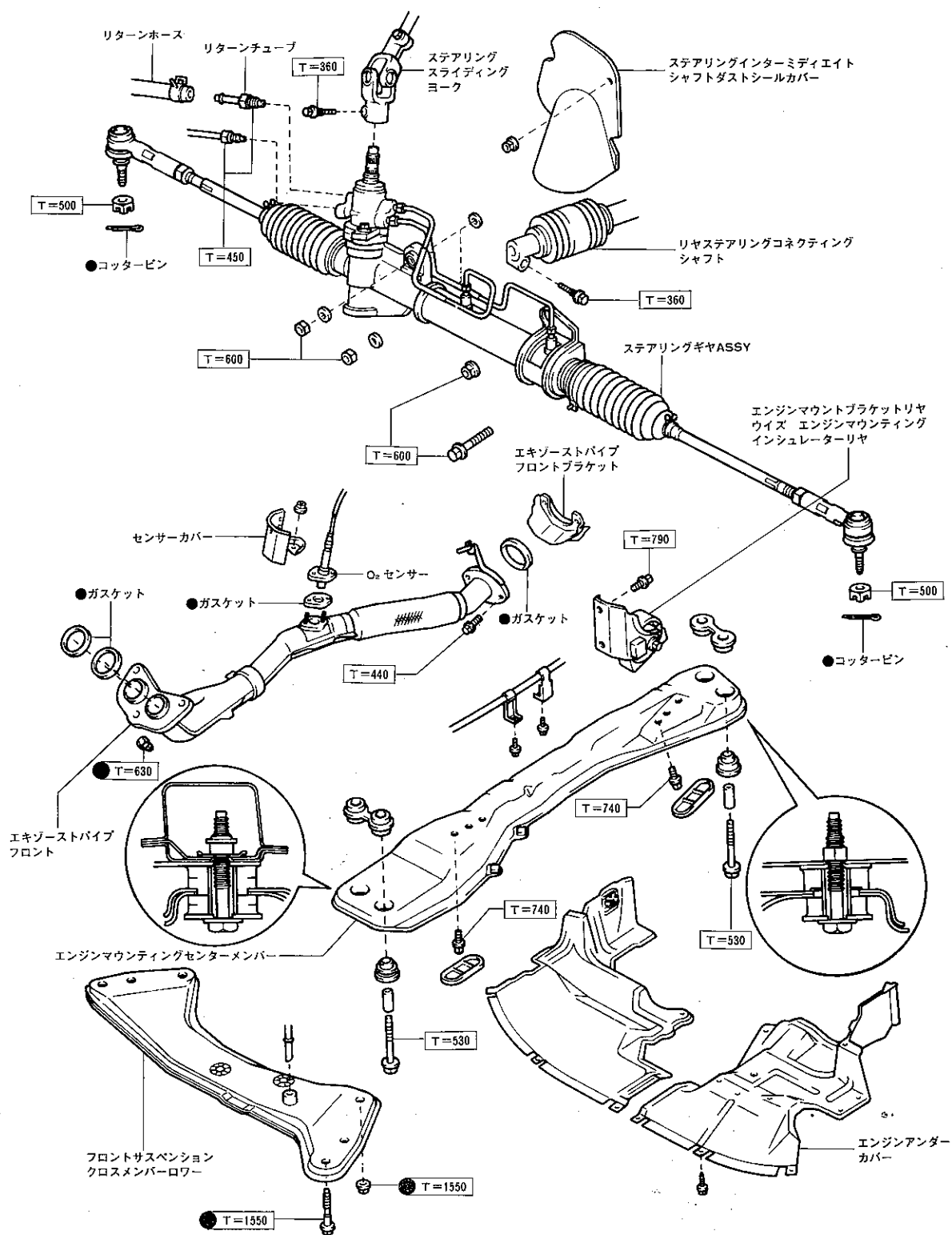
正



X0818

部位 P 9-67 ステアリングギヤ (4WS) 脱着構成図中のボルトおよびナットに対する締め付けトルクおよび再使用不可部品
指示の訂正

正

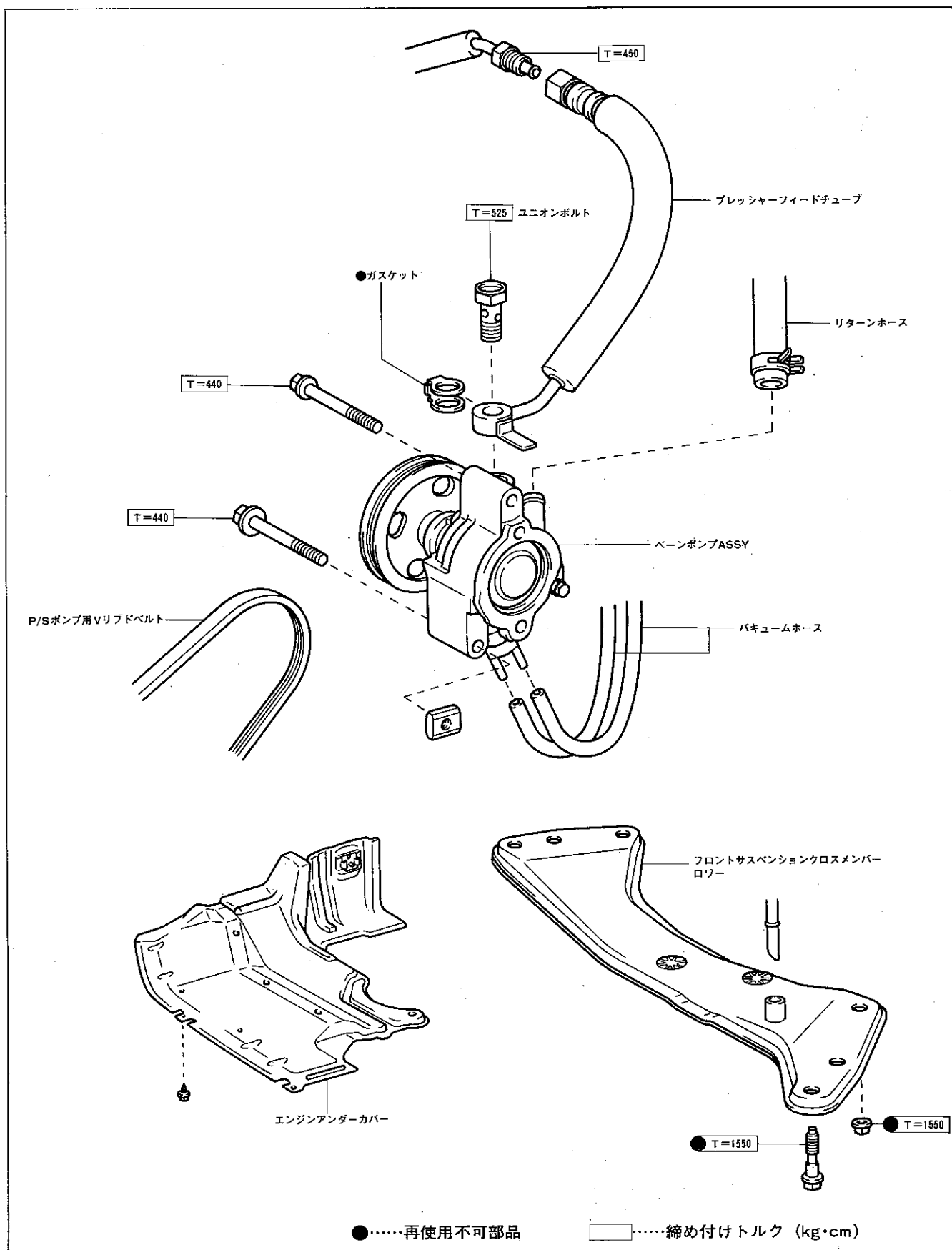


●.....再使用不可部品

□.....締め付けトルク (kg·cm)

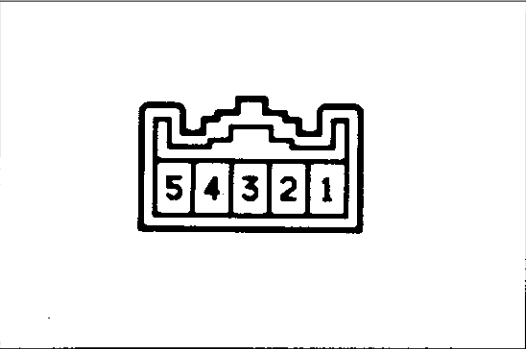
X0819

部位 P9-92 ベーンポンプ脱着構成図中のボルトおよびナットに対する締め付けトルクおよび再使用不可部品指示の訂正



X0655

正



S-5-2-A

パワーウインドウドアスイッチ

1 パワーウインドウドアスイッチ導通点検

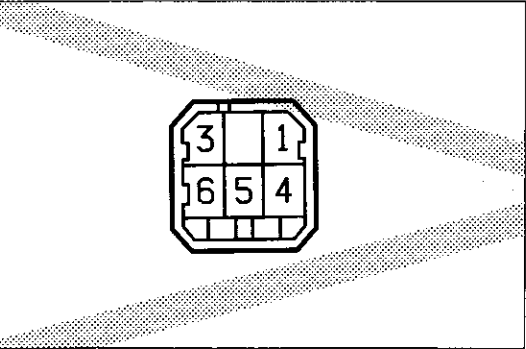
(1) ドアスイッチ各端子間の導通を点検する。

基 準

○—○導通あり

切り替え \ 端 子	3	1	5	4	2
UP	○—○		○—○		
OFF		○—○	○—○	○—○	○—○
DOWN	○—○	○—○	○—○		○—○

誤



S-6-2-B

パワーウインドウドアスイッチ

1 パワーウインドウドアスイッチ導通点検

(1) ドアスイッチ各端子間の導通を点検する。

基 準

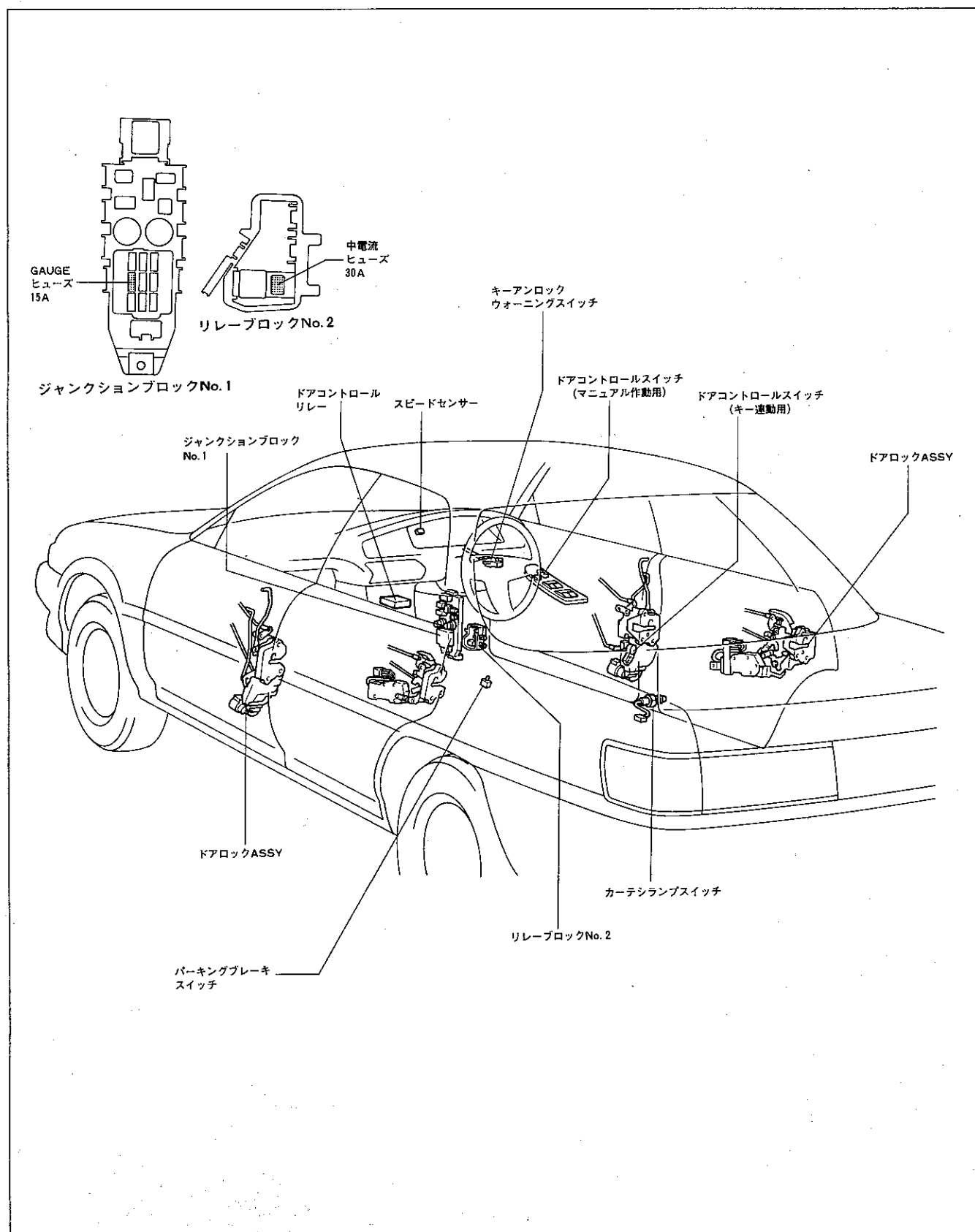
○—○導通あり

切り替え \ 端 子	6	5	1	3	4
UP	○—○		○—○		
OFF		○—○	○—○	○—○	○—○
DOWN	○—○	○—○	○—○		○—○

部位 P11-31 電気式ドアロックの部品配置図内ドアコントロールリレーの取り付け位置の訂正

正

部品配置図



W0001

正

スライディンググループドライブギヤ

1 スライディンググループモーター点検

- (1) モーター側コネクタの3端子にバッテリー⊕, 1端子にバッテリー⊖を接続したとき, ドライブギヤが左回転することを点検する。
- (2) モーター側コネクタの1端子にバッテリー⊕, 3端子にバッテリー⊖を接続したとき, ドライブギヤが右回転することを点検する。
- (3) モーター回転中異音のないことを点検する。

誤

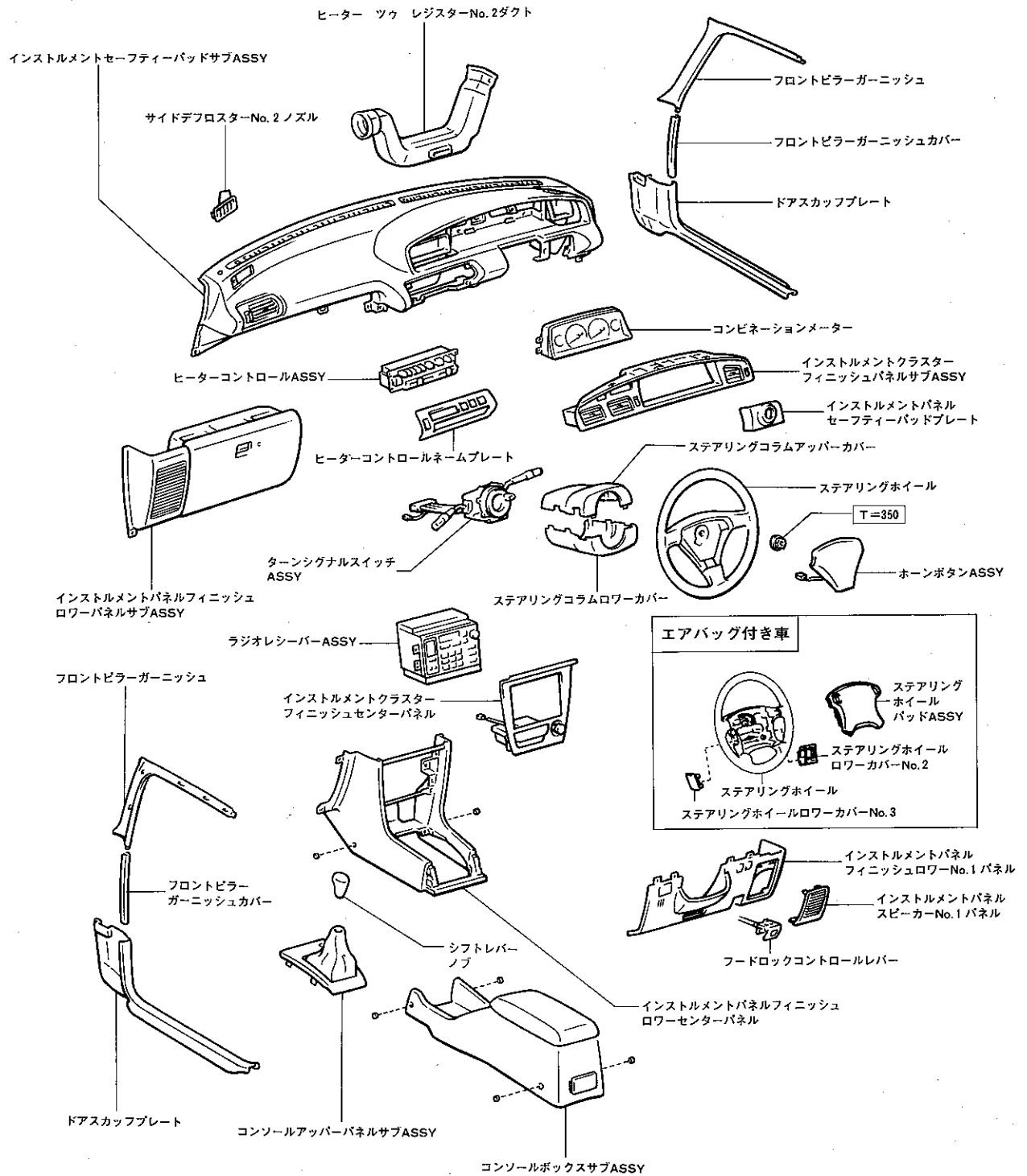
スライディンググループドライブギヤ

1 スライディンググループモーター点検

- (1) モーター側コネクタの3端子にバッテリー⊕, 1端子にバッテリー⊖を接続したとき, ドライブギヤが左回転することを点検する。
- (2) モーター側コネクタの1端子にバッテリー⊖, 3端子にバッテリー⊕を接続したとき, ドライブギヤが右回転することを点検する。
- (3) モーター回転中異音のないことを点検する。

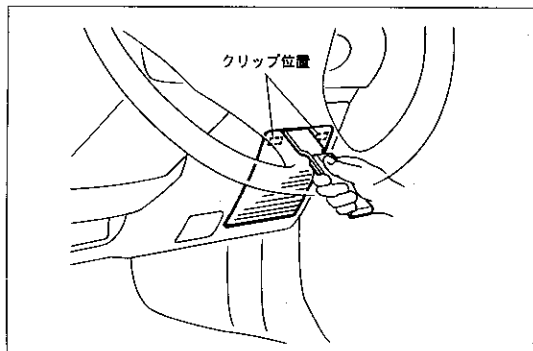
無断複製禁止

.....締め付けトルク (kg・cm)

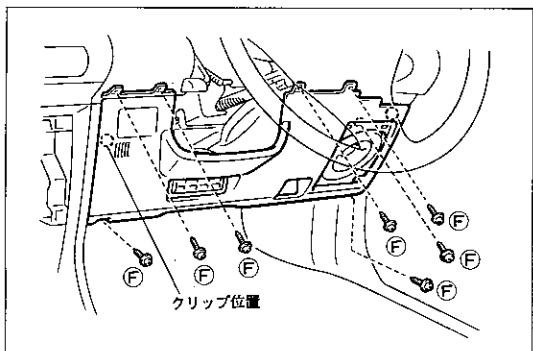


部位 P11-84 インストルメントパネルフィニッシュロワーNo.1 パネル取りはずし要領の訂正

正



W0509

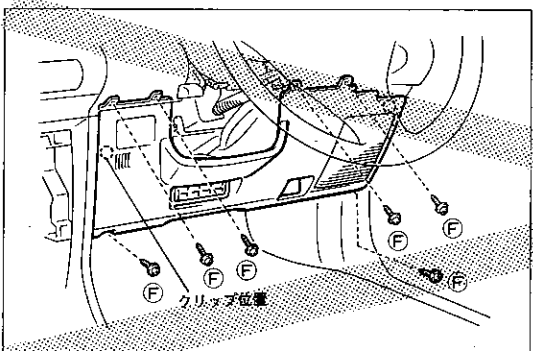


W0510

10 インストルメントパネルフィニッシュロワーNo.1 パネル取りはずし

- (1) 保護テープを貼ったスクレーパーを使用してクリップのかん合をはずし、インストルメントパネルスピーカーNo.1パネルを取りはずす。
- (2) スクリュー7本を取りはずす。
- (3) クリップのかん合をはずし、コネクターを切り離しフィニッシュロワーNo.1パネルを取りはずす。

誤



U9654

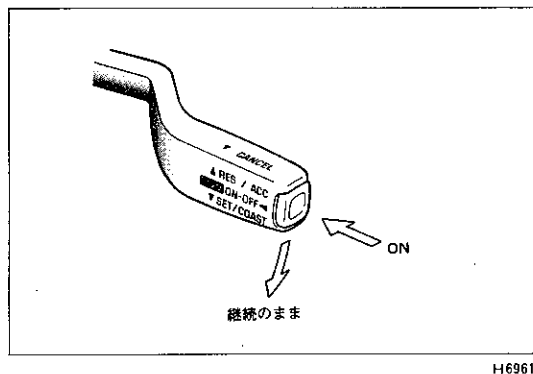
10 インストルメントパネルフィニッシュロワーNo.1 パネル取りはずし

- (1) スクリュー6本を取りはずす。
- (2) クリップのかん合をはずし、コネクターを切り離しフィニッシュロワーNo.1パネルを取りはずす。

正

入力点検

＜参考＞ スピードコントロールコンピューターは各スイッチとコンピューターまでの回路をメーター内のインジケータランプの点滅で点検することができる。ただし、インジケータランプは下記の作動条件でその回路が正常な場合のみコードを示す。



- 1 イグニッションスイッチ ON (No.1, No.2, No.3の点検の場合)
- 2 エンジン始動 (No.4の点検の場合)
- 3 コード読み取り

- (1) スピードコントロールスイッチをセット状態で保持する。
- (2) メインスイッチをON (押す) する。
- (3) メインスイッチのパワーインジケータランプが2回点滅を繰り返すことを確認する。
- (4) 各入力操作を行いコードを読み取る。

注意 No.4の点検を行うときは、解除スイッチがすべてOFFの状態で行う。

＜参考＞ ・入力点検の操作および表示コードを下記に示す。

・表示コードはNo.1→2→3→4の順に優先して表示する。

No.	診断系統	入力操作	インジケータランプ点滅周期
1	SET/COASTスイッチ系	SET/COASTスイッチ ON	点灯 消灯
2	RES/ACCスイッチ系	RES/ACCスイッチ ON	点灯 消灯
3	各解除スイッチ系	各解除スイッチのいずれかをON ①CANSELスイッチ ②ストップランプスイッチ ③クラッチスイッチ (M/T車) ④ニュートラルスタートスイッチ (A/T車) ⑤パーキングブレーキスイッチ	点灯 消灯
4	車速信号系	約40km以下で走行, また停止 (M/T車)	点灯 消灯
		約40km以上で走行	点灯 消灯

4 イグニッションスイッチ OFF

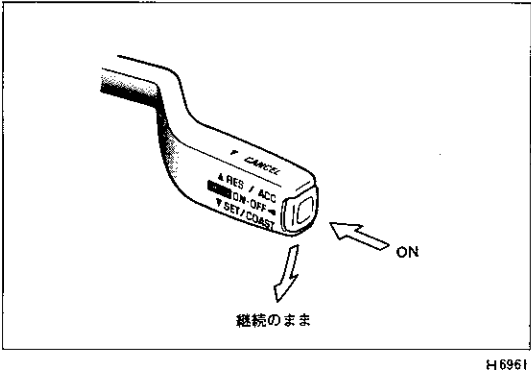
入力点検

＜参考＞ スピードコントロールコンピューターは各スイッチとコンピューターまでの回路をメーター内のインジケータランプの点滅で点検することができる。ただし、インジケータランプは下記の作動条件でその回路が正常な場合のみコードを示す。

- 1 イグニッションスイッチ ON (No.1, No.2, No.4の点検の場合)
- 2 エンジン始動 (No.3, No.5, No.6の点検の場合)
- 3 コード読み取り

- (1) スピードコントロールスイッチをセット状態で保持する。
- (2) メインスイッチをON (押す) する。
- (3) メインスイッチのパワーインジケータランプが2回点滅を繰り返すことを確認する。
- (4) 各入力操作を行いコードを読み取る。

＜参考＞ ・入力点検の操作および表示コードを下記に示す。
・表示コードはNo.1→2→3→4→5の順に優先して表示する。



No.	診断系統	入力操作	インジケータランプ点滅周期
1	SET/COASTスイッチ系	SET/COASTスイッチ ON	点灯 消灯
2	RES/ACCスイッチ系	RES/ACCスイッチ ON	点灯 消灯
3	各解除スイッチ系	各解除スイッチのいずれかをON ①CANSELスイッチ ②ストップランプスイッチ ③クラッチスイッチ (M/T車) ④ニュートラルスタートスイッチ (A/T車) ⑤パーキングブレーキスイッチ	点灯 消灯
4	車速信号系	約40km以下で走行, または停止	点灯 消灯
		約40km以上で走行	点灯 消灯

4 イグニッションスイッチ OFF

部位 P 12-80 スピードコントロールコンピューターの基準値訂正

正

コネク ター	端子 番号	端子名	測定 項目	テスター接続	測 定 条 件	基 準 値
				⊕ ↔ ⊖		
コ ネ ク タ ー A	12	VR1	電圧	A12 ↔ A10	_____	4.5~5.5 V
コ ネ ク タ ー B	1	ECT	電圧	B 1 ↔ A 9	オーバードライブで走行	0.5 V 以下
					オーバードライブで走行中トランスミッションコントロールスイッチ OFF	10~14 V
	4 10	MO MC	電圧	B 4 ↔ B10	オートドライブで走行 (定速走行)	0.5 V 以下
			Hz	B10 ↔ B 4	オートドライブで走行中スピードコントロールスイッチで加速	“バー”が点滅または点灯
					オートドライブで走行中スピードコントロールスイッチで減速	“バー”が点滅または点灯
	8	CCS	電圧	B 8 ↔ A 9	イグニッションスイッチ OFF → ON	10~14 V
					リジュームスイッチ ON	2.5 V 以下
	9	IDL	電圧	B 9 ↔ A 9	スロットルバルブ全開	2.0 V 以下
					スロットルバルブ開 (約1.5°以上)	4.5~5.5 V

誤

コネク ター	端子 番号	端子名	測定 項目	テスター接続	測 定 条 件	基 準 値
				⊕ ↔ ⊖		
コ ネ ク タ ー A	12	VR1	電圧	A12 ↔ A10	_____	4.5~5.0 V
コ ネ ク タ ー B	1	ECT	電圧	B 1 ↔ A 9	オーバードライブで走行	10~14 V
					オーバードライブで走行中トランスミッションコントロールスイッチ OFF	0.5 V 以下
	4 10	MO MC	電圧	B 4 ↔ B 9	オートドライブで走行 (定速走行)	0.5 V 以下
			Hz	B 9 ↔ B 4	オートドライブで走行中スピードコントロールスイッチで加速	“バー”が点滅または点灯
					オートドライブで走行中スピードコントロールスイッチで減速	“バー”が点滅または点灯
	8	CCS	電圧	B 8 ↔ A 9	イグニッションスイッチ OFF → ON	2.0 V 以下
					A/Dメインスイッチ ON	10~14 V
	9	IDL	電圧	B 8 ↔ A 9	スロットルバルブ全開	2.0 V 以下
					スロットルバルブ開 (約1.5°以上)	10~14 V